

枚方市議会議員 **西田まさみつ****チャレンジ21**

<発行責任者>

枚方市議会議員 西田まさみつ

住所 枚方市藤阪西町4-3-406

電話・FAX 072-867-9356

Eメール m-nishida@msg.biglobe.ne.jp

URL <http://www7a.biglobe.ne.jp/~m-nishida>**元気に頑張っています！**

皆様におかれましては、日頃、私の議員活動に対しまして、多大なるご指導とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、時が経つのは早いもので、多くの皆様からご信託を賜り、初めて市議会にお送りいただいてから、本年4月で10年を迎えようとしております。この間、私は枚方市の監査委員や厚生常任委員長、病院事業運営審議委員長や枚方寝屋川消防組合議会議長などの要職を務めさせていただきながら、元気に活動を展開してまいりました。

これからも、皆様のご期待にお応えできるよう、議会や地域で「誰もが安心して暮らしていけるまち・枚方」の実現に向けて全力で取り組んでいく決意でございますので、更なるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年 3月

枚方市議会議員 西田まさみつ



本年の元旦街頭宣伝活動にて

議員活動報告

安心・安全の街づくりを進める

『枚方寝屋川消防組合議会』で議長として頑張っています！

枚方寝屋川消防組合は、年間予算約80億円、職員数約700人、消防・救急車両台数107台を有する国内でも有数の規模を誇る消防組織で、枚方市および寝屋川市の市民約65万人の生命と財産を守るため、火災消火や救急搬送等の「消防・救助活動」や火災等を未然に防止するための「査察」などの業務に日夜を問わず取り組まれています。

枚方寝屋川消防組合議会は、各市議会から選任された16名の議員(枚方市議会9名、寝屋川市議会7名)で構成される、消防組合の運営に係る審議機関ですが、今年度、私はこの消防組合議会の議長を務めております。

私は、安心・安全の街づくりを進めるため、枚方と寝屋川の市内であればどこでも5分以内に消防車や救急車が駆けつけることができる「5分消防・5分救急」の実現など、より効率的・効果的な消防行政の推進に取り組んでいく決意です。



特殊・大規模災害対応車の前にて

市議会の改革と活性化を進める

『議会改革懇話会』の座長を務めています！

枚方市議会は、議会の改革と活性化を推進するために、議長の諮問機関である「議会改革懇話会」を発足させました。本懇話会は、各会派から一人ずつ選出された7名の委員で構成され、私は委員の互選によって座長の重責を担っております。本懇話会は、「本会議における質問形式」や「政務調査費に係る情報公開のあり方」をはじめとする議長からの9つの諮問事項などについて、調査および審査を行い、今年度末には議長に対し答申を行う予定となっております。



懇話会の座長席にて

枚方市政トピックス

★新しい市民病院の建設が検討されています

昨年12月9日、新しい市立枚方市民病院を建設するために策定された「新病院整備実施計画(案)」に関して協議を行う「全員協議会」が開催され、私(西田)も質問に立ち、竹内市長や森田病院長に新病院整備事業を進めるにあたっての決意などを質しました。以下に、「新病院整備実施計画(案)」の概要と、私の質問及びそれに対する竹内市長および森田病院長の答弁の概要をご紹介します。



全員協議会での質問の様子

【新病院整備実施計画(案)の概要】

＜位 置＞現市民病院の東側の国有地を購入し、現病院用地も活用し整備する。

＜規 模＞病床数335床、述床面積28,920m²、階数は地上7階、地下1階。外来900人/日

＜医療内容(抜粋)＞内科、外科、リハビリ部門、小児科、分娩・新生児集中治療部門、産科、婦人科、緩和ケア部門、感染症対応部門、365日24時間救急医療(小児科、産科含む)部門。

＜特 徴(抜粋)＞免震構造、利用者にとってわかりやすい施設の配置、太陽光発電システム導入ほか。

＜目標工程＞用地取得はH21年度中、建設工事はH23年度～H25年度、開設はH25年12月。

＜概算事業費＞総事業費181億円。(用地関連費16億円、建設関連費133億円、医療機器等整備32億円)

【私(西田)の質問とそれに対する竹内市長の答弁】(概要)

西田議員新しい市民病院の建設に向けた市長の決意を聞く。

竹内市長枚方市民病院は、北河内地域で唯一の二次救急医療を実施する医療機関として大きな実績を残してきたが、施設の老朽化等の問題が生じているため新病院に建て替えるとともに、関西医科大学枚方病院や星ヶ丘厚生年金病院などの機能分担により、極めて水準の高い地域医療体制が構築できるものと考えている。このことは大きな本市の魅力につながるという思いのもと、早期の新病院開院に向けて、市役所挙げて最大限の努力をしていく。



老朽化が激しい現市民病院

【私(西田)の質問とそれに対する森田病院長の答弁】(概要)

西田議員これまで市民病院が果たしてきた役割と今後の病院運営に向けた抱負を病院長に聞く。

森田病院長市民病院は、小児科救急は北河内医療圏では唯一の24時間、365日体制を維持している。また、救急医に関しては、内科・外科系も24時間体制を整えており、枚方市内において市民病院は救急の“最後のとりで”となっている。新病院整備後は、これらの機能を充実させて、地元医師会や他の施設とも協力して、決してお断りのすることない救急体制を整えたいと考えている。また、周産期医療で赤ちゃんを、小児医療で子どもたちを、大人になってからは内視鏡外科による治療やガン治療および緩和ケアなど、いわゆる“ゆりかごから墓場まで”市民のケアができる病院にしたいと考えている。

★すべての市立の保育所と幼稚園に

エアコンが整備されます

園児の安全で快適な保育・教育環境を確保するため、平成21年度中に、すべての市立の保育所と幼稚園の保育室等にエアコンが整備されることが決まりました。これは、昨年9月の枚方市議会本会議一般質問で私が強く求めていたもので、大変喜ばしく思っております。



エアコンが整備される市立田口山幼稚園

★校区コミュニティ協議会に対する支援が充実されます

地域自治の推進と地域力の更なる向上を目的として、校区コミュニティ協議会の自主的かつ主体的なコミュニティ活動(災害・安全対策、環境保全、青少年健全育成、地域福祉向上など)を支援するための補助金を増額させることになりました。これによる増額予算は1,896万8千円となります。また、自主防災組織を含めた地域の防災活動を促進するため、防災用資機材の購入に対して補助金を支給する制度を新設することになりました。この制度の事業予算は450万円となっています。

